

本野外コンサートで紹介される

「音楽と宇宙映像の融合の試み《古事記と宇宙》」とは

古事記は、天地（宇宙）の始まり、神々（万物）の創造、天の岩戸伝説（古代の日食？）など、宇宙と深く関わる物語です。喜多郎さん作の楽曲「古事記」はまさに古事記の宇宙との関わりを、見事に音楽で表現したものです。その素晴らしい楽曲「古事記」から連想される宇宙映像を、古事記の内容も考慮しつつ編集したのが、このコラボレーションです。

2012年の金環日食の日に、京大時計台ホールで初めて同時上映を試みました。このときはしろうと作りの編集でした。その後、京大メディアセンターの元木環さん、岩倉正司さん、花山天文台の西田圭佑さんの助けを得て、編集を本格的にやり直した結果、すばらしいDVDが出来ました。全7楽章のうち、当日は第4楽章「大蛇（おろち）」を上映します。楽曲「古事記」を楽しみながら、最新の宇宙の画像や映像を楽しんでいただきたいと思います。なお、ここに出てくる画像や映像は単に美しいだけでなく、学問的重要性も考慮して選ばれており、全体を鑑賞すると天文学入門となるようになっています。

花山天文台長 柴田 一成



古事記と宇宙 DVD（ブックレット付）

発売	: 2015年8月19日（水）		
企画・監修	: 柴田一成	音楽	: 喜多郎
定価	: 3,800円（税別）	品番	: YZDI-8002
発売元	: DIAA株式会社	販売元	: クラウン徳間ミュージック販売株式会社

野外コンサート当日（10月24日）会場でも販売します。

京都大学大学院理学研究科附属花山天文台

京大理学研究科附属花山天文台は、1929年（昭和4年）の開設以来80年以上にわたり、わが国における天文学の観測拠点の一つとして、最先端の天文学研究を推進してきました。その一方で、戦前の時代から一般市民向けの天体観望会を開催するなどにより、天文学・自然科学の教育普及活動の拠点としても重要な役割を果たしており、「アマチュア天文学の聖地」とも呼ばれています。現在も市民団体や行政と連携して、子どもたちへの科学教育と市民の生涯学習に貢献しています。そして2013年1月には、花山天文台が京都市の「市民が残したい“京都を彩る建物や庭園”」として選定されました。「創立以来、世界の天文学研究をリードしてきた。山科盆地から北西を望むと、東山に銀色のドームが2つ並び、多くの市民から親しまれている」というのが、推薦理由です。このように、当天文台は地域からも親しまれています。

しかしながら、近年の予算削減の影響を受け、当天文台は、定常的な維持・管理、施設の保守に関わる予算すら工面が困難な状況にあります。今後、当天文台を安定的に維持運営し、さらに発展させていくため、京都大学は必要な研究施設等を設置・整備する努力を続けていきます。このような活動を皆様にご支援して頂くために、我々は「天文台基金」を創設しております。皆様方には、この趣旨をご理解の上で賛同いただき、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

京都大学天文台基金

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/kikin/>

ウェブサイトからのお申し込み（クレジットカード払い）と申込書によるお申し込み（銀行振込）の2種類がございます。

基金へご寄付頂いた方には、天体観望会へのご招待、ご芳名の掲示、各種ご案内の送付など、特典をご用意しております。詳細は天文台基金のリーフレットをご覧ください。

花山天文台

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学大学院理学研究科附属花山天文台

〒607-8471 京都市山科区北花山大峰町

電話：075-581-1235, FAX: 075-593-9617

通常は施設の公開はしていません。

2015年10月17日（土）に一般公開を予定しております。

詳細は天文台ウェブサイトをご覧ください。

